見守りめぐねっと
ねっとわーく通信
発行：目黒区
第10号
平成26年
冬号

地域で支えあう高齢者見守りの輪

こんにちわ、**まもりん**です。
日頃は、地域の見守りにご協力いただき、
ありがとうございます。
新しく見守りの仲間が増えました。
これからも、みなさんよろしく
お願いします。

目黒区高齢者見守りネットワーク
協力事業者向けステッカー

見守りめぐねっと

協力団体・協力事業者などの皆さんが、高齢者等の「ちょっと気がかり」なことに気づいたときに地域包括支援センターへ連絡していただくことで、高齢者等をゆるやかに見守っていく取り組みです。

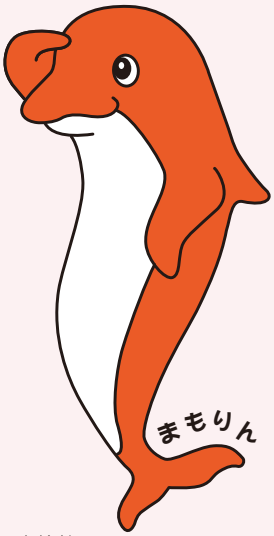
各地区の地域包括支援センターが中心となって、PRキャラクター**まもりん**の活躍の場を増やしていきます。多くのかたに関心を持っていただき、いくつもの「見守りの輪」を作っていきます。

見守り訪問事業

65歳以上のひとりぐらしや高齢者のみの世帯のかたを、地域の見守りボランティアが個別に見守ります。

見守りを希望する高齢者と見守りボランティアを募集中です。

＊＊＊ 問い合わせ先　各包括支援センター（裏表紙）＊＊＊



目黒区高齢者
見守りネットワークキャラクター

NEW 見守りサポーター

地域の高齢者等をゆるやかに見守り、何か気がかりなことを感じたら、地域包括支援センターに連絡していただくかたのことです。

地域で暮らすみなさんひとりひとりが、「見守りサポーター」です。

ゆるやかな見守りの担い手として、地域のみなさんと支え合い安心して暮らせるまちをつくりましょう。

ー支え合いの心で、高齢者に安心なまちをー

“おやっ?”と思ったら地域包括支援センターにお知らせください

配達の時に…

- ポストに新聞や郵便物等がたまっている
- 洗濯物が何日も干しっぱなし
- 敷地内や家の中に物があふれている
- 異臭がする
- 雨戸が閉められたままになっている

店舗で…

- いつも同じものばかり買う
- いつもお札で払う、小銭が出せない
- 理由もなく急に怒り出す
- 寒いのに薄着で外出
- 急激に痩せた
- しばらく見かけない

金融機関で…

- 通帳の再発行を繰り返す
- たびたび暗証番号を忘れる
- 通帳を盗られたと訴える
- カード類の区別がつかない
- 通帳の見方がわからない
- 簡単な説明が理解できない

見守りめぐねっとカードは、各包括支援センターで配布しています

協力事業者向けステッカー

協力事業者さんの店舗や、配達用の車やバイクに貼られています。

こんな連絡がありました。

診療所から

ひとり暮らしのAさんは定期的に通院していました。最近、通院を忘れがちで主治医の先生が心配していると、包括支援センターに連絡をいただきました。

包括支援センターの職員が訪問したところ、物忘れの症状が見られました。診療所へ同行し認知症の検査を受けました。その後、介護保険のサービス利用につながりました。ヘルパーさんの支援を受けながら、現在もひとり暮らしを続けています。

配食事業者から

Bさんは、毎日配食サービスを利用していました。ある日、配食業者がいつものようにお弁当を届けに行くと応答がありません。一人で外出できる状況ではなかったため、包括支援センターへ連絡が入りました。

Bさんが部屋の中でぐったりしているところを、包括支援センターの職員が見つけました。すぐに救急車を呼び大事にはなりませんでした。今では、すっかり快復し、デイサービスへ通っています。

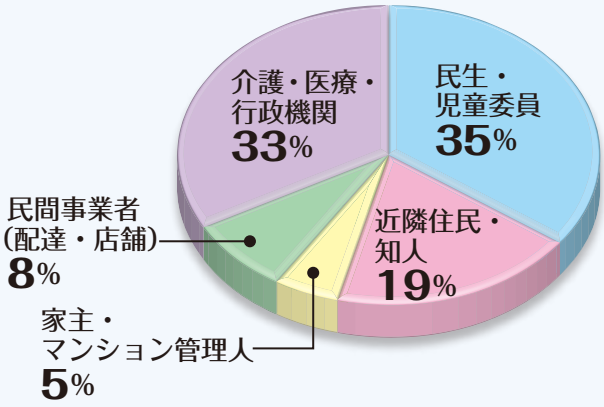
4月から10月の通報・相談件数は319件

高齢者の見守りや安否確認について各包括支援センターに寄せられた通報や相談は、平成26年4月～10月の間で319件でした。

通報・相談者の内訳は右のグラフのとおりで、民生・児童委員と近隣住民・知人を合わせると全体の約半分を占めています。また、近隣住民、家主、コンビニ事業者等の幅広い方々からも通報・相談がありました。

通報・相談で多かったのは、ひとり暮らし高齢者に関するもの（124件）、安否確認（108件）、認知症・精神疾患に関するもの（60件）等でした。

*複数に該当する場合はそれぞれに集計



認知症高齢者の行方不明が増えています!!

平成25年中における、全国の行方不明者は約8万4千人でした。その中の70歳以上の高齢者は約1万5千人（全体の約18％）、認知症又は認知症の疑いによる行方不明者は約1万人と全体の約12%（前年より0、5%増）を占めています（警視庁生活安全局発表の調査結果から）。

最近は、マスコミでもこの問題が大きく取り上げられています。遠方の施設などに保護され長期間にわたり身元が判明しない高齢者も出ています。

気になる高齢者を見かけたら 》》

- 住所、氏名、連絡先などを確認して、包括支援センターに連絡を
- 身元がわからない場合は、110番通報を

寒い時期でも脱水症に注意しましょう!

脱水症は、暑い夏の間だけのことと思っていませんか？　これからの寒い時期にも発生します。体にとっての快適な湿度は50～60%ですが、冬は50%以下になることが少なくありません。乾燥する季節は、知らない間にからだの水分が失われやすくなります。

特に高齢になるとからだの異変に気づきにくくなり、体調管理が難しくなります。喉が渇いていなくても、こまめに水分補給を行い、脱水症にならないよう心がけましょう。

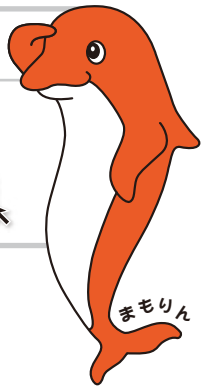
高齢者の「ちょっと気がかり」なことに気づいたら

北部包括支援センター ……	5428-6891
東部包括支援センター ……	5724-8030
中央包括支援センター ……	5724-8066
南部包括支援センター ……	5724-8033
西部包括支援センター ……	5701-7244

まもりん今日このごろ

区のホームページで、まもりんの日頃の活動をお知らせしています。

目黒区まもりん今日このごろ　検索



【編集】目黒区健康福祉部地域ケア推進課　TEL:5722―9064　FAX:5722―9062